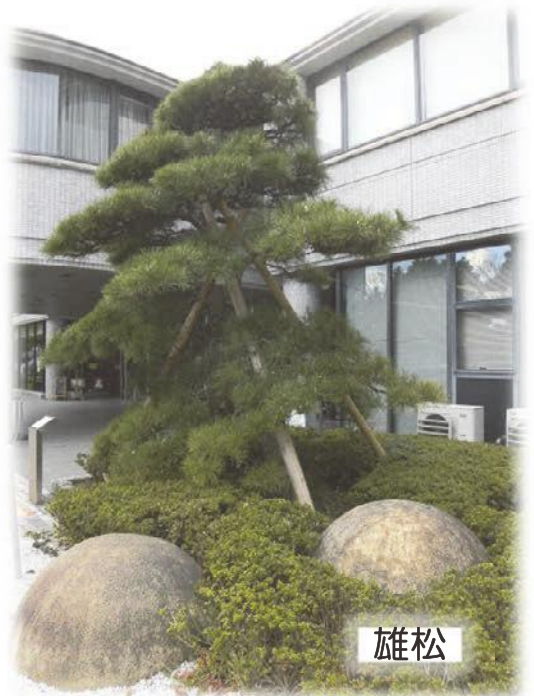


『クロマツ』

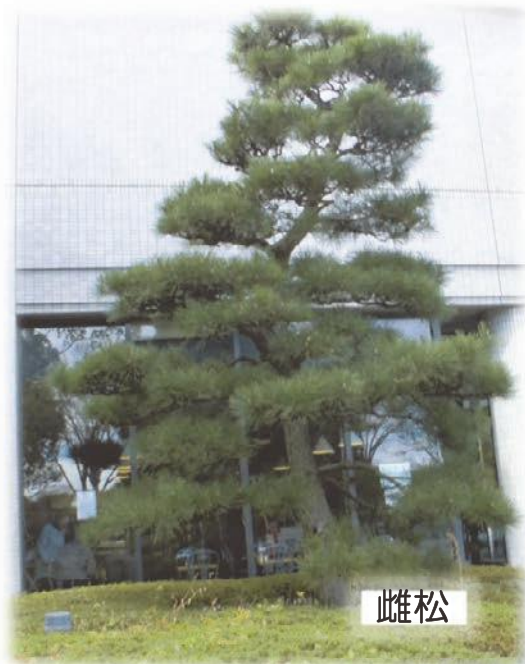
高砂市の市木は松である。向島公園や幹線道路に黒松がたくさん植栽されている。

市ノ池公園にも日本庭園に1本と公園入口に1本と温室の裏手に3本が植栽されている。日本庭園と公園入口はそれなりに手入れされていて、過去に剪定の好きな方がされていたと聞いた。日本庭園は昨年何とか剪定と古葉もみを行ったが、今年はまだ手を付けていない。残念なことに私は高いところが苦手で、3.6メートルの脚立に登ると足が震えてくる。なので、公園入口の庭木のような松を剪定しようにも足が竦んで、その方向にすら近づかない。

高砂市総合体育館には雌雄の松がある。相生の松にちなみ植栽されたものと思われる。体育館に向かって右は雄花が開花する松、左は松ぼっくりがぶら下がる雌松とされる。



雄松



雌松

高砂市に限らず黒松は普通に庭木として植栽されていた。黒松も赤松も自然界の松林が今は保護しないと維持できないのが現状である。マツノマダラカミキリがマツノザイセンチュウを媒介し、付近の松は姿を消した。高砂神社の老木はそれが原因で枯れたのだらうと言いつたされている。

マツノマダラカミキリの発生は5月下旬から始まるので、庭に松を植えられている方はその時に殺虫剤などで防除するとよい。

では、またお会いしましょう。

みどりの相談所 講師（樹木医） 高田 正



高砂市総合体育館玄関前